

ストップ・ザ・熱中症

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設業における熱中症死亡労働災害の多発を受けて

平成 29 年に全国で発生した建設業における熱中症死亡労働災害は 8 名でした。そのうち県内が 2 名〔裏面発生状況の 3、6〕と 4 分の 1 を占めており、極めて憂慮すべき事態となっています。これを受けて建設業労働災害防止協会広島県支部は、次の事項を重点とした安全パトロールの実施や独自対策等好事例、体験談の募集等の取組を行うこととしましたので、お忙しい中ではありますが、全員参加による効果的な対策の実施等、特段のご協力をお願い申し上げます。

1 熱中症の発生原因、発生の程度を知ろう！

熱中症が増加した原因

地球温暖化（環境の変化）
体温調整能力の低下
暑さに対する抵抗力の低下

体温は汗を出すこと
で下げられる

「汗をかく能力を
高めることが
大切」

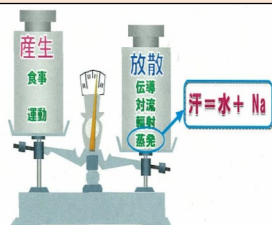


必ずチェック！みんなで確認！その 1

- WBGT 値(暑さ指数)を知っていますか？
- WBGT 値(暑さ指数)の低減措置を図っていますか？
- 休憩場所は整備していますか？
- 高温多湿な作業場所などで、休憩時間を増やす等連続作業時間の短縮を図っていますか？
- 高温多湿な作業場所などに労働者を就かせる際に、熱への順化期間を設けていますか？

熱中症とは

条件：高温多湿な環境下
状態：体内の水分及び塩分(ナトリウム等)のバランスが崩れる、体内の調整機能が破綻するといった症状が発症する障害の総称



必ずチェック！みんなで確認！その 2

- 自覚症状の有無に関わらず、水分塩分を定期的に摂取させていますか？
- 作業服は透水性・通気性の良い服装や防止、空調服等の着用をさせていますか？
- 作業中、熱中症に重点を置いた現場巡視を行っていますか？
- 健康診断結果に基づき、就業場所の変更、作業転換等の措置を講じていますか？
- 作業前、作業中、作業後等日常の健康管理について、労働者に声を掛けて確認していますか？

今年こそ STOP！熱中症みんなで進める
～クールワークキャンペーン！ひろしま～

2 熱中症予防対策はこれだ！

熱中症のまとめ(3管理)

作業環境管理：
WBGT計を活用、
暑さそのものの対策
・日陰を作る、
・スポットクーラー
・扇風機、
・散水



必ずチェック！みんなで確認！ その3

体温計、体重計など常備して、身体状況を確認できるようにしていますか？
熱中症を予防する教育を行っていますか？
熱中症の発生に備えて緊急連絡網を作成し、関係者に周知していますか？
熱中症を疑わせる症状が現れた場合の、救急処置の手順（70-チャート）を知っていますか？

熱中症のまとめ(3管理)

作業管理：身体への負荷を減らす
* 重労働 ×
* 熱気・輻射熱 ×
* 直射日光 ×



休憩場所は日陰の涼しい所
休憩、**水分 + 塩分補給**をこまめ行なう
服：皮膚に密着しない白系、
帽子も必要

熱中症のまとめ(3管理)

健康管理：
作業開始前に健康状態を確認
**風邪、発熱、下痢、睡眠不足、
二日酔い**など



体調の悪い時は熱中症になり易い
熱中症を疑ったら即病院へ

平成 29 年 建設業熱中症死亡災害発生状況（WBGT 値は環境情報サイトによる）

発生月	性別 (年代)	工事概要	災害発生状況
1	7月 男(30代)	その他の土木	伐採木の運搬作業を行い、午後4時頃被災者が倒れているところを発見され、休憩させたが嘔吐痙攣を起し病院に搬送したが死亡した。(30.7)
2	7月 男(40代)	鉄骨等造建築	現場で不要電柱2本を抜き、持ち帰る作業が午後2時終了し建柱車で現場を出たところで道路から脱輪しぐったりして運転席にいるところを発見され、病院に搬送したが死亡が確認された。(32.1)
3	7月 男(20代)	その他の建築	酒蔵の屋根を金属カバーで覆う作業を行い午後4時点呼後行方不明になり屋根上で発見され、病院搬送先で2時間後死亡した。
4	7月 男(40代)	鉄骨等造建築	住宅工事現場で擁壁の型枠建込作業中にけいれんを起し倒れ病院に搬送され加療中、約2か月後に死亡した。(29.3)
5	7月 男(40代)	鉄骨等造建築	朝から左官工事を開始し、午後4時半ごろ屋上の作業場で倒れているところを発見され、救急搬送されたが同夜死亡した。(28.1)
6	8月 男(50代)	その他の土木	法面の草刈り作業を終日行い、事務所に帰り帰宅するため駐輪場で倒れ、意識不明で病院搬送されたが1.5か月後死亡した。(26.9)
7	8月 男(50代)	その他の土木	道路わきで草刈り作業中、午後4時過ぎ熱中症の症状が出たため休憩を指示され、駐車場で意識のない状態で発見され、病院に搬送されたが3日後に死亡した。(31.2)
8	8月 男(70代)	その他の建築	平屋建て過酷の解体作業現場で、熱中症により倒れ、コンクリート床に頭を打ち、病院に搬送され治療中、7日後に死亡した。(30.4)